

Voice

クリーンハイク：岬町・飯盛山

達成感ありました

泉州労山

初物はガード堅し！！

初めて岬町でクリーンハイク・清掃登山。岬町に協力要請したが、担当の男性は思いの外、ガードが堅いと感じた。一方の女性事務員は「あっさりゴミ集積場の提案があり」スムーズに事は弾むと感じたが、その後、一向に要請に対する返事がない。5月の連休後、電話すると担当の男性「検討中」とつれない返事。

5月29日、確認の電話をすると、清掃のコースすら把握してない。コースを再度説明すると、やっとのことでゴミ集積場の提案があった。ため池の柵の横にゴミは置くことに決定。

ゴミ袋は支給するとの回答はあったが、後援名義許可のお話はなし、気の弱い私は、だまって引き下がった。

前日の豪雨、さぞ荒れていると思いきや

前日、仲間より電話があり「土砂崩れあるかも、スコップ持参する」と提案アリ、心強いお話。

登りは「石ころ処理」、町より河原へ投棄 OK もらっていたのではりきったのですが、お正月ハイクの時のような歩きづらいほどの石ころはない。むしろ、前日の豪雨の影響で道は激しく削られていた。赤い地肌すら見えていた。よって、石ころ拾いは「空振り」。

城跡もあり、普通のハイクも堪能

飯盛山近くにはかつて飯盛寺（千間寺）があった。信長とか秀吉の根来攻めの際、焼き払われた。町設置の看板で皆さん歴史のお勉強。（次いでながら私の講義：世の政治は乱れている。高野山にもって修行している時ではない！！と根来寺は決起した）

なので、頂上付近はたいへん見晴らしがいい。今回は運悪く、霞気味で明石大橋は見えず、淡路島もかすかに程度。でも初めての方は見晴らしを楽しんでいた。

下山は、倒木処理、枯れ枝に挑戦

倒木処理としてノコギリ処理、色テープあるいは赤ビニールひもで目印など行った。

女性軍もなれないノコギリ操作に奮闘。倒れていても生きている木もあり、切ったものの重くて登山道からよけるのが難しい。男手二人でやっこさ動かせた。フーー。

枯れ枝は回収。私は一定程度長い枝をビニールひもで束ねて持参、ちと重すぎた、肩がパンパンであった。

他の人はゴミ袋に放り込んでいた。これもビニール袋は滑りやすいので運ぶのはきつかったはず。

ところで枯れ枝を放置するとため池にたまるので将来的にはそれなりに問題となるはず！！

枯れ枝の重量は約30キロ。来年もやりたい。

